

まなび(Classi号)



今年度の「まなび3号」です。先週発行した2号で【GTZの見方】【個人成績表のチェックポイント】の紹介をしました。個人成績表では、現在の自分の立ち位置を確認し、目標とする位置を設定し、目標達成に向け、まなびを進めてほしいと思います。まなびを進める上で一番大事にしなければならないのは、日々の授業です。日々の授業の受け方については、「まなび1号」の【効果的な定期テストの受け方】の中で紹介しましたが、今回の「まなび3号」では、学校でみんなと共通に学ぶ授業、課題に加え、自分独自の取組として、「Classi」の活用を紹介したいと思います。皆さんへの紹介の前に、保護者の方の「Classi」利用についてご紹介をしたいと思います。

Classiにログインしてできること（保護者編）

保護者の皆さま、本校では今年度から「Classi」というベネッセコーポレーションのICTプラットフォームを利用しています。保護者用ID・パスワードからログインした後に出てくるアイコンの「欠席連絡」からは、保護者から学校への欠席等の連絡をいただいております。アイコンの「校内グループ」には、学校からの全体への一斉案内、グループ又は個人への個別案内が到着しているかと思ひます。アイコンの「アンケート」には、既にご協力をいただいた「教職員の指導に関するアンケート」や「学校生活アンケート」等が到着いたしますので、期限内のご回答にご協力ください。回答は保護者1・2どちらかのアカウントのみで可能になり、回答者のみ履歴をご確認いただけます。

「成績カルテ」では、以下のようなことが確認できます。

①お子様の全国学力推移調査(全国模試)の成績

Classiのアプリを開く→「成績カルテ」をクリック→「ベネッセのテスト」をクリックすると、最新のお子様の全国学力推移調査の結果が表示されます。具体的には、校内順位・偏差値、全国順位・偏差値・GTZについての個人成績が示されます。GTZとは、ベネッセにおける学力の評価指標です。

2・3年生については、昨年度までの結果も見ることができます。

②お子様の日々の学習時間の推移

Classiのアプリを開く→「成績カルテ」をクリック→「学習」をクリックすると、まず3年生については、日々の学習時間を折れ線グラフで確認することができます。また「ベネッセのテスト」をクリックすると、前回までのベネッセのテストでのお子様回答した「学習アンケート結果」を確認できます。

保護者用については以上となりますが、「生徒編」もお読みになり、Classi利用によりお子様がどのようなことができるのかをご確認ください。

Classi にログインしてできること（生徒編）

生徒の皆さん、皆さんは「Classi」をどのように利用していますか？生徒用 ID からログインすると保護者用には表示されないアイコンがたくさんあります。その 1 つに「学習記録」というのがあります。

①「学習記録」からできること

・総合目標 GTZ の設定

総合の目標 GTZ を設定すると、そのレベルに応じた目標とすべき学習時間が、色つきの「横棒」で示され、自分の日々の学習時間とのギャップが可視化されます。

・学習時間の入力

3 年生は、日々帰りの会で入力をしていると思いますが、1・2 年生も目標 GTZ の設定と日々の学習時間の入力をしてみてください。学習用 PC を立ち上げての学習時間の入力が面倒な人は、アプリ内のタイマーで計測するだけで、学習時間の登録が済んでしまう機能があります。このタイマー機能を利用するには、スマホでのログインが必要になります。以下がその手順です。

1. 「学習記録」を開き右下にあるストップウォッチのようなアイコンをクリックする
2. 計測したい教科を選び、「計測開始」をクリック
3. 「計測終了」をクリックし、「登録する」をクリック

するとその間の時間が自分の学習時間として、入力の代わりに登録されます。

②「学習トレーニング」からできること

・「設定」から教科ごとの目標 GTZ が設定

「設定」をクリックし、5 教科ごとに目標 GTZ が設定できます。

・「自主学習」から目標 GTZ のレベルに合った問題演習

自分が設定した目標 GTZ とベネッセのテスト結果をもとに提示される問題の中から、自分で選んだ演習に取り組むことができます。アウトプットを軸とした学習体験により、自分の理解度の確認に加え、弱点の反復演習で定着に繋げることができます。問題を解いて「わからない」と思ったときは、動画で解説を聞くこともできます。

「ベネッセのテスト」と「ドリル」の違いは、

「ベネッセのテスト」からは、学力推移調査の **中 1 生第 1 回を除く全学年の 8 回分** の出題範囲からの問題演習に取り組み

ます。最初に、一番上にある何年生の第何回を対象とした問題に取り組むのかを選択し、教科→単元等を選んで前回までの復習を行うのか、次回の対策を行うかの取組になります。

一方「ドリル」をクリックすると、対象となる教科が 5 教科+情報となり、高校で習う項目も含んだ中から単元等を選んで演習することができます。国数英についてはまず、中学の範囲か、高校までの内容を含む範囲かを選んで取り組んでください。自分の今のレベル、これから目指すレベルを自分で選んで問題に取り組むことができます。英語で「すべて」を選択すると、「無生物主語と名詞構文」なんていう文法項目があって、中学で習う内容が全てではなく、大学受験までの学習の奥深さが確認で、モチベーションアップにも繋がると思われます。

実はこの「自主学習」機能を利用し、既に学習を行っている人がいます。4 月 1 日から 6 月 12 日までの間に、3 年生は 3815 回の取組が確認できました。1・2 年生を合わせても 909 回ですので、さすが 3 年生ですね。ちなみに個人の最高は、3 年 3 組の生徒で 494 回でした。この機能はどれだけ行

っても電気代以外にはかかりません。利用しない手はないでしょう。

・「今日の一問先生」からあなたに合ったおすすめの一問が演習できます

教科や内容は、ランダムにAIが選んだおすすめの問題に取り組むことができます。ちょっとした隙間時間におすすめです。

・先生から課された課題やテストの問題演習

「課題学習」では、先生から配信された問題に取り組むことができます。

③「WEBテスト」「学習動画」からできること

先生から配信されたテストに取り組んだり、動画の確認ができたりしますが、利用については先生方からの指示をお待ちください。但し学習動画は2025年9月30日に提供終了となります。

④「成績カルテ」からできること

「ベネッセのテスト」をクリックすると、過去に受験した学力推移調査の自分の結果が表示されます。この「成績カルテ」は保護者との共有情報になります。

⑤「ポートフォリオ」からできること

・日々の生活での気づきや学校行事、進路活動など活動ごとの記録

ポートフォリオでは、学習での気づきや、テストの振り返り、学校行事、部活動など、さまざまな活動を文章や画像を添付して「活動記録」として残すことができます。

活動記録は、キーワード、カテゴリー、マークで絞り込むこともできます。活動記録を入力する際にマークを選択しておく、と、学期や年度の終わりに振り返りをする際、「よくできたこと」「できなくて悔しかったこと」など、大事な活動の振り返りを簡単に探し出すことができます。

学校行事の講演会等の「振り返り」をこのポートフォリオ機能を使って行うことも検討中ですが、それまでは、提出前に画像として残り蓄積していくと、必要な時に簡単に取り出しができますので、活用してみてください。Classiに表示される記録は、武雄高校進学後も引き継がれます。特にこのポートフォリオは大学受験の際に利用する可能性がありますので、こまめに記録を残しておくことをお勧めします。

今回の紹介はここまでとします。特に「学習記録」と「学習トレーニング」からできることには、積極的に活用してください。利用について、何か分からないことがありましたら、先生方にお尋ねください。